

# リイシリ

'18.7月

発行：利尻町立博物館  
〒097-0311 北海道利尻郡利尻町仙法志字本町  
☎ 0163-85-1411, Fax: 1282

## 利尻島は

## どうやってできた？



岩石の研究者が来島します。利尻島はどうやってできたのかをいっしょに見て聞いてみましょう。杵形から鶴泊までの野外観察会、地学ポイントをぶらぶらしながら、島の成り立ちを想像してみましょう！

利尻島に関する調査研究を助成する民間の研究助成団体「利尻島調査研究事業」による本年二人目の研究者は、利尻火山をフィールドとしてこれまで何度か来島されている岩石学の専門家です。講座では、まず(1)火山の基礎

知識、(2)利尻火山の成り立ち、(3)火山噴出物の顕微鏡観察などを行い、悪天でなければそのまま野外観察会に行きましょう。利尻島の北部から西部まで広く覆っている杵形溶岩流をじっくりと観察するのほか、杵形から鶴泊



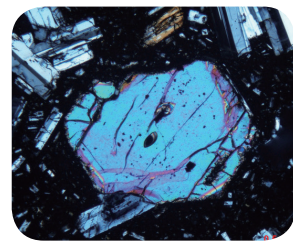
ごいっしょに利尻の  
でき方や岩石の魅力  
を見て回りましょう！

谷内です！

までに見ることができ「利尻山ができた時の痕跡」をいろいろと探してみたいと思います。  
演題：ブラッと利尻！歩いて実感、マグマと地形  
講師：谷内元さん（北海道

大学理学研究科 岩石学火山学研究グループ  
共催：利尻町立博物館、利尻島調査研究事業  
日時：8月11日（土曜日）  
9時半～12時頃まで  
集合：9時半までにどんと郷土芸能実習室にお集まりください。

内容：座学を1時間程度行い、その後、杵形へ鶴泊の地学ポイントで野外観察を行います。悪天の場合は室内での地学標本観察をいたします。  
講師による紹介文：『今年に入って発生した霧島連山の新燃岳や硫黄山、そして草津の本白根山の噴火は記憶に新しいと思えます。日本には地球全体の約10分の1の火山が集中しており、我が国は名実ともに火山大国です。火山噴火は災害となり我々の生活に影響を与える一方、「夢の浮島」とも呼ばれる利尻島のような美しい景観、豊かな大地、そして温泉など人々の生活に恩恵をもたらす側面もあります。このような背景から、火山を正しく理



顕微鏡下に広がるガラスと鉱物の世界

解し、上手く付き合っていくことは重要であると考えられます。火山と上手く付き合っていくためには、まず相手のことを知る必要があります。地震波や火山ガスなどを用いた「観測的手法」は、火山内部で「今起きていること」を知るのに便利で、噴火予知に対して絶大な力を発揮することでしょう。しかし、「過去にどのような活動があったのか？」あるいは「どのようにして岩石ができたのか？」を調べるには不便です。これらを知るためには、実際に噴出している物質を調べる「物質科学的な手法」が重要になります。利尻火山にはいくつもの深く侵食された谷があり、谷を奥へ行けば行くほどタイムマシンに乗ったかのように、より古い時代の噴出物が現れます。そこから採取した噴出物を肉眼や顕微鏡で観察し化学分析することによって、かつて利尻島の地下深くで起きてい

た現象を明らかにすることができると言えます。現在私は、この「物質科学的な手法」を駆使して、利尻山（山頂を構成する主成層火山体）の形成過程を解明するための研究を行っています。これまで我々の研究グループでは、利尻火山の誕生から今に至る過程を「物質科学的な手法」から追求してきました。まだまだ分かっていないことは山積ですが、セミナーではこれまで得られた利尻島の形成過程を分かりやすく紹介したいと思えます。また野外観察会では、ZINの某人気番組のように、一緒に地形や岩石を見ながら火山内部をブラブラしませんか？どのようにして利尻島がどのように作られたのか、そして利尻島の地下深くで何が起きているかを体感できると思います。（谷内）  
その他：野外観察会では海岸付近など足場が悪いところにも行く予定です。足首などをサポートすることができるとしたら靴のほか、野外活動に適した長ズボン・長袖、軍手、帽子などをご用意ください。また、屋外での行動食や飲みものなども適宜お持ちください。

## 利尻の海の不思議 01 セタはコンブに願いを…？

きたる8月7日はセタマ（環形動物）です。体長は1〜50mmと小さく、コンブの根（附着器）のすき間に棲んでいることが知られています。彼らの背には、まるで短冊や花びらのような、薄く平らな剛毛がたくさん生えています。虫眼鏡や顕微鏡で観察すると、それらの剛毛は光を反射させてキラキラと金色に輝いて見えます。コンブの根を見る機会がある方は、根のすき間までじっくり観察してみてください。おもしろいかもしれません。【富】



0.5 mm

本コラムは不定期連載で、利尻の海に関する話題を紹介するコーナーです。



宗谷管内  
巡回展

「宗谷の学び舎」

8/1-  
8/20

宗谷管内の学芸員らが作成した巡回展示が今年もやってきます。今回のテーマは学校、その中でも特に現在では廃校となってしまった小中学校をとりあげます。本巡回展で確認されている管内の廃校となった学校や分教場は、礼文町(6)・利尻町(6)・利尻富士町(5)・稚内市(21)・猿払村(10)・浜頓別町(12)・中頓別町(8)・枝幸町(4)・旧歌登町(11)・豊富町(13)・幌延町(10)と106校を数えますが、期



間が短かった分教場や分校なども加えると、さらに増えるものと思われま。利尻町では、蘭泊小学校や久遠小学校のほか、近年では利尻中学校の新設に伴い2017年に閉校となった仙法志中学校や杏形中学校などがあげられます。今回の巡回展示利尻会場では、これら利尻島内の廃校となった各校の紹介のほか、宗谷管内の教育の歴史、学校にまつわる様々なエピソードなどを展示パネルにてご紹介する予

定です。町民の方はご自由にご覧いただけますので、お近くにお立ち寄りの際はぜひご来館ください。

**主催** 宗谷管内6市町村の教育委員会

**制作** 宗谷管内学芸員連絡協議会

**期間** 8月1日(水)～20日(月)

**会場** 利尻町立博物館・ロビーにて

今年もやりませう！  
コウモリ調査会



杏形の住宅地のすぐ横にある憩いの森、気軽にお散歩などが楽しめるのが「森林公園」。公園と言われていますが、市街地に接するからといってその自然度は決して低くなく、クマゲラや多くの小鳥たち、様々な彩る自生する花たちをゆつくりと見ることが出来る素敵なフィールドのひとつです。

博物館では、島内でも様々な場所でコウモリの調査を実施していますが、この森林公園では島内に生息するすべてのコウモリ5種が確認されて

報告：マダニを探した1日 (6/3)

マダニによる感染症の専門家である新倉綾さん(国立感染症研究所)によるマダニ・セミナーが6月3日に実施されました。まずは座学にてマダニの基礎をみっちり教えただけではありません。足が何本あり、どのように一生を終えるか、どんな場所が好きか、さらにはマダニに噛まれないた



いるほか、アスファルトに寝転がって、星、フクロウ、コウモリなどが楽しめる、非常に数少ない場所なのです。今年、森林公園の駐車場からすぐのパーベキュー広場の街灯に集まるコウモリのほか、徒歩1～2分の場所で捕獲調査の見学会を開催予定です。

**日時** 8月18日(土) 19:00-20:30  
**集合** 19:00(杏形・森林公園駐車場)  
**内容** 最初に駐車場にて簡単にコウモリ講座を受講して、基礎知識を学びましょう。その後、パーベキュー広場でコウモリの姿を探したり、歩いて1分の捕獲調査場所で実際にどんなコウ

めの野外での服装と注意点などのほか、ニュースになった旭川でのマダニ媒介性脳炎などの感染症を学んだ後は、日本最大と言われる生きたタカサゴキアラマダニなどの観察を室内で実施。その後は森林

公園に会場を移動し、参加者全員で白い旗を使ったマダニ採集を遊歩道沿いで開始しました。一人が採れ始めると「私も！」と必死に探し始め、少なくとも二種類のマダニを7個体ほど採取できました

ぶち・りっしり

傷病鳥日誌

クマゲラ、2018.5.29、利尻富士町、利尻富士町鴛泊(ヒナ2羽の収容。利尻自然史研究室より多大なサポートをいただきました。ありがとうございます。キセキレイ、2018.6.5、仙法志小学校、利尻町仙法志御崎(交通事故個体でしたが、無事故鳥でできました)。ゴジュウカラ、2018.7.11、アイランドイン利尻、利尻富士町鴛泊。\*交通事

故個体の収容が続いています。ご自身の安全のため、そして島に住む小さな生き物たちのためにもスピードダウンのやさしさをお願いします！

リイシリ購読

町内の方には無料でお届けしています。町外の方は1部につ

た。身近なところに結構な数のマダニがいることを実感した会となりましたが、今後はこれらのサンプルから病原体の検出など新倉先生によって詳細な分析が行われる予定です。

き送料82円切手のご負担で定期購読が可能です。ほか、メール配信、インターネットのサイトにて最新号やバックナンバーの閲覧なども可能になっております。定期購読についてのお問い合わせは博物館、または [rishiritownmuseum@town.rishirihokkaido.jp](mailto:rishiritownmuseum@town.rishirihokkaido.jp) までお気軽にどうぞ！

**購読件数**  
町内33(±0)、一般15(±0)、交換21(±0)、メール104(±0)、合計173件(229部)。

バックナンバー

過去二年分までダウンロードが可能です。検索「博物館だより リイシリ」で！

【ちょこっとメモ】 106年前のクマ情報、求む！なんと106年ぶりに利尻島でクマの上陸が確認されましたが、博物館では前回の明治時代の上陸について再調査をしているところ。こんな話を聞いたことがある、その時の毛皮や骨などが残っている、などの情報があればぜひお知らせください！！